

1/29 児童と保護者の「ケータイ安全教室」



▲草野小6年生の小山悠香さん(左)と高橋苑子さん「フィルタリングのことが分かって、勉強になりました」

草野・飯樋・白石小学校の家庭教育学級で、5・6年生とその保護者向けに「ケータイ安全教室」を行いました。NTTドコモの職員が講師となり、携帯電話の利用上のマナーや安全対策、肖像権や個人情報の大切さについて分かりやすく説明。子どもたちはクイズに参加しながら楽しく学んでいました。

白石小5年生・武藤好誠君の保護者・武藤久美子さん(二枚橋・須萱)「上の兄弟が携帯電話を使っているので役立つお話でした」

いいたて 便り

ひと月のできごとを振り返ってお知らせします



力を合わせて悪い鬼をやっつけろ～

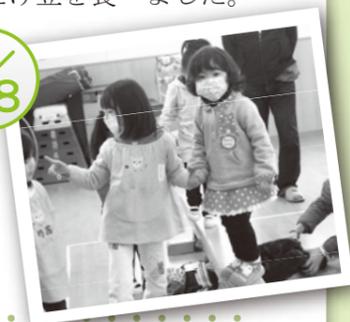


▲「鬼は外～！」ドラマチックな豆まきでした

草野・飯樋幼稚園の豆まき会。由来を聞いたり、ヒイラギの枝に刺したイワシの頭を見たり、和やかでした。そこへ赤鬼と青鬼が乱入。みんな必死で豆をぶつけました。しぶとい鬼がようやく退散すると「怖かったね～」と顔を見合わせた子どもたち。クラスに帰って年の数だけ豆を食べました。

2/8 新入園児歓迎会

新年度入園児の歓迎会が開かれました。先生も入園児も入園式を楽しみに待っています。



「いやしの宿いいたて」で、ほっこりお茶の会

「いやしの宿いいたて」の広間で、「いいたて茶友会」の皆さんがお茶の会を開きました。会の始まりには、「いいたて琴の会」に所属する小学生が琴の演奏を披露。心づくしの会を楽しんだ来場者は「人恋しくて来てみました。いい時間でした」「おいしくいただきました。ほっとしますね」などと話していました。



▲気楽に作法も習いながら、和やかに

商工会からのお知らせ



▲当選した賞品を手にする小泉さん

問 飯館村商工会 (☎024-561-2230)

スタンプラリー抽選会を行いました

飯館村商工会では、村民の皆さんに村内事業所の事業再開(継続)状況をお知らせするため、昨年11月初旬に「がんばって商い中!! いいたてマップ」を作成し、配布しました。併せて、その中の20店舗でスタンプラリーを開催し、1月中旬に抽選会を行いました。

【当選者】(敬称略・順不同)

- ◆ニンテンドー3DS LL・・・小泉裕隆
- ◆折りたたみ自転車・・・高倉京子
- ◆魚沼産こしひかり20kg・・・山田初子
- ◆「摺上亭 大鳥」ペア宿泊券・・・渡邊百合子
- ◆飯館大吟醸&おこし酒セット・・・菅野美紀、桑折礼子、今野幸子、高橋富子

※2,000円分商品券の当選者については、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

入札結果

入札日/平成25年2月18日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込み)	請負業者	完成予定
平成24年度ふるさとふくしま帰還支援事業ウェブカメラシステム整備業務	36,435,000	(株)福島県中央計算センター	平成25年3月下旬
平成24年度小学校生徒用パソコン等購入	4,389,000	(株)大一事務機	平成25年3月下旬
平成24年度小中学校用電子黒板等購入	3,276,000	(株)大一事務機	平成25年3月下旬

こころのぽけっと

「いいたて村の考え方」

これまで、村民とともに「までいライフ」をスローガンにむらづくりをしてきましたが、原発事故によって足元から崩れてしまいました。何度もの「こころのぽけっと」で、「悔しい」「腹が煮えくり返る思い」と言ってきましたが、一方で、いくら愚痴を言っても何の解決にもならないので、徹底的に国や東電に災害責任として、大変な思いをしている我々の心に寄り添うように言い続けてきました。つまり、国が出す施策にこちらから逆提案をして、変えさせてきたところです。避難区域見直しや賠償についても、村民の立場に寄り添うよう国に提案をし、変えさせてきました。一方で、この災害に遭わなかったらできなかった事業を国にやらせようとも努めてきました。その一つに、昇口の舗装があります。これから除染をする時、昇口を舗装できるようにしてもらい、この機会に舗装してしまおうというものです。村が補助金を出しながら、本人負担もお願いし、放射線の遮へい効果が期待できる安全で、使いやすい昇口にするものです。この事業は、これから3月議会で議決をいただかなければなりません。議員の皆さんのご理解の上、現在申し込みをしております。この機会に「この機会に」という方は申し込んでみてください。これからのような事業を村民のために一つでも二つでも国などに要望していくつもりです。「なるほど、飯館村の考え方には寄り添う価値があるな」と国などに言われるようにしていきたいものです。

平成25年2月20日 飯館村長 菅野 典雄